

国立科学博物館附属 自然教育園

平成30年度 学習支援活動

やさしい生態学講座—附属自然教育園生物相調査の成果発表— (全6講座)

1. 2月10日(日) 14:00~16:00



自然教育園の60年における

コケ植物の移り変わり

樋口 正信(植物研究部)

自然教育園のコケ植物相は1954、1979、2001年に報告されており、経時的な変化が追跡されている数少ない場所です。現在の状況と比較しながら自然教育園のコケの移り変わりとその原因を考察します。

2. 2月11日(月・祝) 10:00~12:00



※この講座のみ、時間が異なります

※一部、野外での観察を予定(雨天時は室内のみ)

大気環境の変遷と都市部の地衣類

大村 嘉人(植物研究部)

大気汚染やヒートアイランドといった環境ストレスと地衣類の関係について、自然教育園などでの調査結果を踏まえて解説します。

3. 2月13日(水) 14:00~16:00



見える鳥と見えない鳥の生息状況を調べる

濱尾 章二(動物研究部)

鳥の中には数や高木の枝葉の中に潜むものや、鳴き声をあまり発しないものがあり、種ごとの生息の有無や密度を把握するのが困難です。今回の調査で用いた捕獲を伴う調査方法とそれによる成果を紹介します。

4. 2月14日(木) 14:00~16:00



都心で生きる爬虫類・両生類:

自然教育園生物相調査から

吉川 夏彦(分子生物多様性研究資料センター)

ヘビやトカゲなどの爬虫類、カエルなどの両生類は移動能力が低く、都心部に残った緑地はその貴重な生息地となっています。自然教育園内に生息する爬虫類・両生類の現状について、生物相調査の結果から解説します。

5. 2月15日(金) 14:00~16:00



自然教育園で見られるハチとその生態

井手 竜也(動物研究部)

自然教育園内からは、これまでの調査によって200種以上のハチ類が記録されています。どのようなハチが、どのような生活を送っているのか。調査の方法や一般的なハチの説明を交えながら、自然教育園内で見られるハチたちに迫ります。

6. 2月16日(土) 14:00~16:00



東京 都心緑地の甲虫インベントリー

野村 周平(動物研究部)

都市東京の都心には、皇居や自然教育園のような緑地が、あたかも海に浮かぶ島のように点在しています。これらの緑地における甲虫類(昆虫綱・コウチュウ目)の分布と変動について、今年度までの自然教育園における調査結果を踏まえて解説します。

平成31年2月10日(日)、2月11日(月・祝)、2月13日(水)~2月16日(土)

時間: 14:00~16:00 ※11日のみ10:00~12:00

場所: 自然教育園 第一講義室(東京都港区白金台5-21-5)

対象: 一般、大学生

定員: 1講座につき40人

参加費: 無料(ただし、別途入園料が必要です)

入園料: 一般・大学生310円 ※高校生以下、65才以上の方は無料(要証明書)

申込方法: 平成31年1月10日(木)から電話にて受付開始

9:00~16:30(毎週月曜日と祝日の翌日は休園)

電話: 03-3441-7176 自然教育園 にて次の①から⑥をお伝え下さい。

①希望講座 ②氏名 ③年齢 ④電話番号 ⑤居住地市区町村 ⑥職業・学年等



【交通】

JR山手線目黒駅、東急目黒線目黒駅から徒歩約9分
東京メトロ南北線・都営三田線白金台駅から徒歩約7分

